

## 第3回土曜 AL(アクティブラーニング)を実施しました

今年度3回目の土曜ALを10月15日(土)に実施しました。生徒の探究的な学びや進路選択の一助となるような3つの講演を企画しました。今号では、その様子を紹介します。

### 講演①群馬大学発ベンチャーの挑戦 (群馬大学理工学部 教授 板橋英之 様)

群馬大学で行われている研究に基づく商品開発やビジネス展開についてお話いただきました。当初の目的とは異なる、思わぬ利用方法に基づくビジネス展開など大変興味深い内容でした。そして何より「群馬をイノベーションの拠点にする」という情熱や行動力が伝わりました。

#### \*生徒の感想\*

研究には気合と根性、そして発想が大切であると感じました。何十回も何百回も実験と改善を繰り返してこそ、結果を出せるのだと思いました。自分たちの課題研究でもお手本にして頑張りたいです。



### 講演②「前橋の街の未来は自分たちでつくろう」建築から街づくりへ

(石井設計グループ 代表 石井 繁紀 様)



前橋市のアーバンデザインや車橋門復元提案等の前橋市の街づくりについてお話いただきました。行政主導だけではなく、民間主導での前橋市の未来設計を行っていることや、建築は理系の専門知識だけでは成り立たず、社会課題を踏まえて街全体をデザインする設計をしていること、設計やデザインにおいて3D設計技術やメタバースを活用していることなど、建築に対する生徒たちのイメージが覆るような内容でした。「失敗もまた良し。次のチャレンジの糧になる。」といった石井代表の経験を踏まえた前高生へのメッセージに、生徒たちは感銘を受けました。

#### \*生徒の感想\*

建築分野の文理融合性が新鮮で、建築を街づくりに昇華していくうえで、理系の力だけでなく文系の力が必須だと学べたことが大きなモチベーションになりました。「失敗もまた良し」という考えは、ネガティブ気味な自分に刺さりました。

### 講演③日本のエネルギー課題に向き合うということ

(東京電力パワーグリッド株式会社 群馬総支社長 水口明希 様)

東京電力での働き方・生き方について、様々な観点から話をさせていただきました。停電発生時の対応や福島復興支援、尾瀬における自然保護など、地域住民と直接かかわる仕事だけでなく、カーボンニュートラル(脱炭素社会)実現に向けた日本の課題や取り組みも紹介いただきました。内容が豊富で、視野が広がる講義でした。

#### \*生徒の感想\*

東京電力が日本のエネルギー問題に対してどのように取り組んできたのか詳しく知ることができました。「どの会社に就職するか」ではなく、「就職した会社でどんな働き方をするか」という視点を持ちたいと思いました。

